

平成 27 年 8 月 4 日

作成：佐々木農業研究会

山田錦栽培情報

1. 出穂期の予測

生育の早いところで、7月31日に幼穂形成を確認致しました。

このことから、早いところで8月23～24日頃に出穂がはじまり、出穂期のピークは27～28日頃の予想です。

出穂から収穫までの日数が40～45日とすると、収穫日は10月5日～10月10日頃が目安となります。

2. 今後の管理について

穂肥は早いところで8月7日、概ね10日頃が第一回目となります。

穂肥は、2回分施が基本となります。

葉色が濃いところでは、一回目の穂肥を止めるまたは延期し、減量して下さい。

また、速効性ケイ酸肥料も効果的です。

物差しをもって草丈をはかり、75 cm 以上の場合は、穂肥を控えます。

また、カラスケール（葉色板）で3.5以上の場合は、穂肥を控えます。

山田錦は、葉色が薄めでも葉には窒素があります。

3. 収穫の目安

稲の姿により、見た目の目安は異なります。

稲をしごいて、籾水分が25%であることを確認し収穫してください。

晩生で気温も低くなりますが、大粒種であり胴割れしやすいことを念頭に、刈り遅れないようにしましょう！

4. 乾燥調製

外気温+5を念頭に、時間あたり減水分率は0.5%、25%→15%で、乾燥時間は約20時間必要となります。

作業計画に余裕を持って取り組みましょう！

5. 病害虫に注意

周りにニカメイガ、コブノメイガ、いもち病の被害が多い場合はご注意ください。

コブノメイガは上位2葉の2割の葉に被害が見られる場合、晩生品種は8月中旬に必要な応じて防除します。



コブノメイガの被害葉
(滋賀県病害虫防除所 HP より)